

ご支援ありがとうございました



おびひろ応援寄附金

～寄附者の皆様へのおたより～

今年の4月に第9代の帯広市長に就任した米沢です。
帯広・十勝は朝晩の気温が氷点下まで下がり、寒さが身にしみる季節となつてまいりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、帯広市では、平成20年4月に改正された個人住民税の寄附金控除の拡充（いわゆる「ふるさと納税」）に伴い、「おびひろ応援寄附金」として、広く全国の皆様へ、帯広市のまちづくりへのご支援をお願いしてまいりました。

おかげ様で、多くの方からたくさんのご寄附をお寄せいただきましたことに、心から感謝し、お礼を申し上げます。

このたび、寄附をいただいた皆様へ、寄附金の受納状況や用途に加え、まちづくりの近況をお知らせするため、このおたよりをお届けしたところです。

今後とも、帯広市のまちづくりを応援していただきますようお願い申し上げます。

平成22年12月

帯広市長 米沢 則寿

寄附金の受納状況

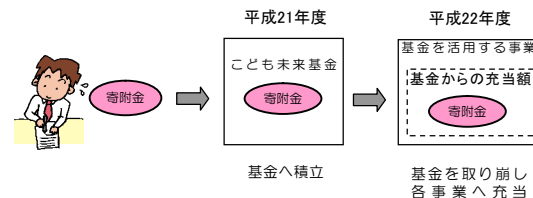
平成21年4月1日から平成22年3月31日までの間に、個人の方から帯広市に対し、98件、25,951,544円の寄附金をお寄せいただきました。

分野	件数	金額
ばんえい競馬の振興	78件	15,300,544円
国際親善交流の推進	1件	100,000円
保健・福祉施策の推進	4件	9,512,000円
こどもや青少年の健全育成	1件	10,000円
商工業や観光の振興	1件	25,000円
緑化事業の推進	1件	30,000円
学校教育の振興	2件	400,000円
文化の振興	2件	110,000円
図書館図書の実	5件	284,000円
スポーツの振興	3件	180,000円
合計	98件	25,951,544円

平成22年度 寄附金の使途

寄附金は皆様のご意向をひまえ、各分野（左頁参照）の基金に積み立てたうえで、平成22年度に以下の事業の財源の一部として、活用させていただいています。なお、図書館の図書整備にいただいた寄附金のうち、44,000円（3件）は、寄附者のご意向に沿って平成21年度中に図書の購入に活用させていただきました。

（例）平成21年度にこどもや青少年の健全育成に寄附をした場合



ばんえい競馬の振興

- ばんえい競馬の運営
各種イベントによる普及活動、広告宣伝活動、競馬場の施設整備 など
- ※ ばんえいの振興業務は、オッズパーク・ばんえい・マネジメント（株）に委託

国際親善交流の推進

- 高校生相互派遣事業
国際姉妹都市への高校生の派遣及び受入
- 市民主体の国際交流活動の促進
さまざまな分野の人を国際姉妹都市へ派遣し、相互理解を促進 ほか4事業

保健・福祉施策の推進

- 高齢者や障害者の緊急通報システムの整備
- 高齢者や障害者への理容・クリーニングサービス ほか1事業

こどもや青少年の健全育成

- 子どもの居場所づくり事業
地域ボランティアやNPO団体が中心となり、放課後や休日に小学校の特別教室などを活用し、子ども同士もしくは子どもと大人の交流の場を設ける。
- 絵本との出会い事業
4ヵ月児健診時に絵本をプレゼントし、親子のふれあいの機会を創出。 ほか7事業

商工業や観光の振興

- 商工業の人材育成
市内の中小企業、個人事業者などを対象に、中小企業大学校などへの研修や、先進地視察などへの費用の一部を補助

緑化事業の推進

- 帯広の森の整備・育成事業
間伐や下草刈りなどによる帯広の森の整備育成や、十勝飛行場周辺の環境整備など
- 桜並木整備事業
帯広の森や帯広川などの桜並木を整備し市民の憩いの場を創出 ほか7事業

学校教育の推進

- 奨学金の貸付
高校生や大学生などへの奨学金貸付
- 教員の人材育成
教員の資質向上を目指し研修機会や研究サポート充実 ほか3事業

文化の振興

- 劇団四季鑑賞事業
小学6年生を劇団四季の公演に招待し、子供たちに良質な芸術に触れる機会を提供
- 市民文芸50号記念別冊発行 ほか12事業

図書館図書の充実

- 図書の購入
様々な分野の学習情報や新しい知識を提供するための図書を購入

スポーツの振興

- 各種大会運営補助
スピードスケートをはじめとした全国・全道規模の各種スポーツ大会の運営費を補助
- スポーツ大会等派遣事業
スピードスケートをはじめとした全国・全道規模のスポーツ大会への遠征費を補助 ほか4事業

夢かなうまち おびひろ 近況報告



「フードバレーとかち」を推進しています



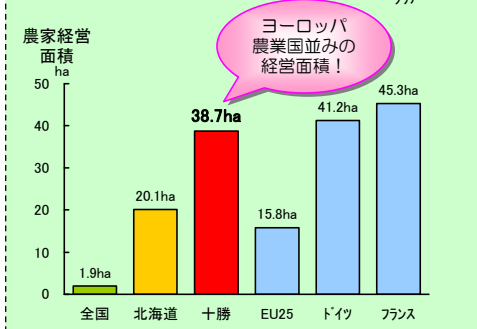
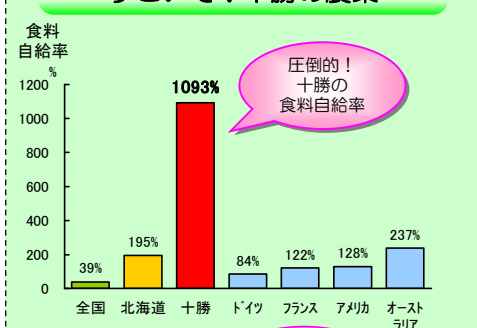
「フード(Food)」＝「食・食べ物」
「バレー(Valley)」＝「渓谷・人の集まる場所」

「食と農業」を柱にした地域産業政策として「フードバレーとかち」を旗印に掲げ、十勝全域とスクラムを組みながら、様々な取り組みをすすめています。

広大な農地や圧倒的な食料自給率、各種の試験研究機関の集積など、地域の優位性を最大限に活かしながら、十勝・帯広ならではの元気なまちづくりを地域一丸となすすめ、その魅力を国内外に発信していきます。

また、富士宮やきそばで有名な静岡県富士宮市と「フードバレー交流」を始めたほか、9月には国の国際戦略総合特区に関する提案を行うなど、「フードバレーとかち」の取り組みを積極的に推進しています。

すごいぞ！十勝の農業



「とかちむら」がオープン！にぎわう「ばんえい十勝」

世界で唯一、帯広市で開催している「ばんえい十勝」は、多くの方々に支えられ、4シーズン目を迎えています。

今年8月には、帯広競馬場内に、観光交流拠点施設「とかちむら」がオープンしました。

とかちむらは、おいしいお店がいっぱいの「キッチン」、魅惑のスイーツたっぷりの「スイーツ&セレクト」、新鮮な農畜産物どっさりの「産直市場」の3つの建物からなり、それぞれ十勝の「食」を満喫することができる、ぜいたくな空間となっています。

とかちむらのオープンによって、より幅広い層のお客様が競馬場に来場していただけるようになり、ばんえい競馬は、これまで以上ににぎわいをみせています。



迫力満点！ばんえい十勝



競馬場内にオープン！とかちむら

「帯広の森」もたくさんの人でにぎわっています



帯広の森・はぐくむ

これまで市民植樹祭などを通して、多くの市民により植樹がすすめられてきた「帯広の森」。この森を育て楽しむための活動拠点「帯広の森・はぐくむ」が、今年4月にオープンしました。

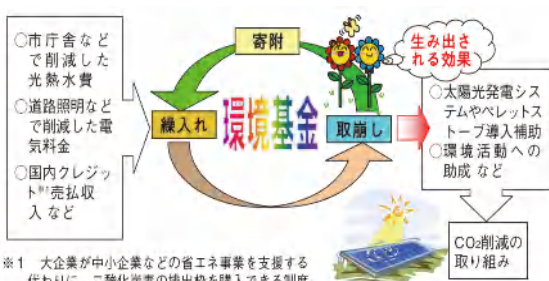
植樹が始まってから35年がたち、成長した樹木の間伐などの手入れが必要な時期を迎えています。「はぐくむ」を帯広の森での活動拠点として、これからも皆さまと協力しながら、森づくりをすすめていきます。

「環境基金」を設立しました

平成20年7月に国から環境モデル都市に認定され、二酸化炭素削減に向けた様々な取り組みを行っています。

その取り組みのひとつとして、今年7月に市民や企業からの寄附金などをもとに「環境基金」を設立しました。

この環境基金は、省エネの取り組みにより削減した光熱水費などを基金に積み立て、これを太陽光発電システムなどの省エネ・新エネ機器の導入に対する助成や環境事業に活用し、そこで得られた効果を再び基金に積み立てる“循環型”の基金として運用していきます。



※1 大企業が中小企業などの省エネ事業を支援する代わりに、二酸化炭素の排出枠を購入できる制度。

また、昨年9月に、帯広の森運動公園内にオープンした屋内スピードスケート場「明治北海道十勝オーバル」では、数々の国際・国内大会が開催されてきているほか、日本のスピードスケート選手の強化拠点施設として指定され、国内外からトップレベルの選手やたくさんの観客が集まり、とてもにぎわっています。

来たる12月11日、12日には、この明治北海道十勝オーバルで、スピードスケートのワールドカップが開催されます。今年2月のバンクーバー冬季オリンピックでの十勝・帯広出身の選手の活躍や健闘はとても印象的でしたが、今回は世界のトップ選手の滑りを間近に体験することができる絶好の機会であると、歓迎ムードが高まっています。



明治北海道十勝オーバル

【お問い合わせは】
帯広市 政策推進部 企画課
〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1
電話：0155-65-4105(企画課直通)
E-mail: plan@city.obihiro.hokkaido.jp